



## 平成29年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年6月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルトナー

コード番号 2163 URL <http://www.artner.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関口 相三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 張替 朋則

TEL 06-6445-7551

四半期報告書提出予定日 平成28年6月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年1月期第1四半期の業績(平成28年2月1日～平成28年4月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第1四半期	1,276	9.8	177	8.2	179	14.8	116	21.0
28年1月期第1四半期	1,163	15.4	164	85.6	156	73.4	96	75.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第1四半期	43.97	—
28年1月期第1四半期	36.34	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第1四半期	2,160		1,421			65.8
28年1月期	2,102		1,357			64.6

(参考)自己資本 29年1月期第1四半期 1,421百万円 28年1月期 1,357百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年1月期	—	15.00	—	20.00	35.00
29年1月期	—				
29年1月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年1月期の業績予想(平成28年2月1日～平成29年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,461	3.7	236	△20.6	238	△19.2	158	△14.7	59.62
通期	5,000	5.0	499	15.7	501	16.0	334	20.8	125.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年1月期1Q	2,656,980 株	28年1月期	2,656,980 株
29年1月期1Q	503 株	28年1月期	503 株
29年1月期1Q	2,656,477 株	28年1月期1Q	2,656,563 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページ(<http://www.artner.co.jp/ir/>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、設備投資の増加基調、雇用・所得環境の改善等により、緩やかに回復を続けております。先行きについても、回復が続いていくことが見込まれますが、中国経済をはじめとしたアジア新興国や資源国等の海外経済の下振れ等のリスクに注視していく必要があります。

当社の主要顧客である自動車を中心とした輸送用機器分野においては、水素エネルギー技術を活用した燃料電池自動車、自動運転技術を備えた先進安全自動車等の開発の影響により、また、精密機器分野においては、すべてのモノにインターネット通信機能を持たせるIoT（Internet of Things）の市場拡大に伴う次世代半導体の製造装置の開発の影響により、当社への技術者要請が増加いたしました。

このような状況の中、当社の技術者派遣事業においては、技術者数、稼働率が前年同期を上回ったことにより、稼働人員は前年同期を上回りました。また、高いスキルを有する技術者の高付加価値な業務への配属が進捗したことにより、技術者単価は前年同期を上回りました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,276,918千円（前年同期比9.8%増）、営業利益は177,468千円（前年同期比8.2%増）、経常利益は179,559千円（前年同期比14.8%増）、四半期純利益は116,796千円（前年同期比21.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ58,290千円増加し、2,160,842千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少61,317千円があったものの、売上債権の増加79,708千円、繰延税金資産の増加31,184千円があったことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ5,467千円減少し、739,298千円となりました。これは主に、賞与引当金の増加86,223千円、退職給付引当金の増加19,337千円があったものの、未払金の減少85,421千円、未払法人税等の減少22,942千円があったことによるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ63,757千円増加し、1,421,543千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加63,667千円があったことによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ61,317千円減少し、1,240,481千円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、3,761千円（前年同期比118,016千円減）となりました。これは主に、税引前四半期純利益179,559千円、賞与引当金の増加額86,223千円があったものの、法人税等の支払額117,532千円、未払金の減少額79,751千円、売上債権の増加額79,708千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、8,137千円（前年同期比7,183千円増）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出8,080千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、49,419千円（前年同期比13,481千円増）となりました。これは、配当金の支払額49,419千円があったことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月14日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,301,799	1,240,481
受取手形及び売掛金	512,618	592,327
原材料及び貯蔵品	1,618	1,309
その他	82,301	119,089
貸倒引当金	△3,000	△3,500
流動資産合計	1,895,337	1,949,707
固定資産		
有形固定資産	81,376	81,051
無形固定資産	22,748	23,360
投資その他の資産		
敷金及び保証金	58,138	57,770
その他	44,950	48,951
投資その他の資産合計	103,089	106,721
固定資産合計	207,214	211,134
資産合計	2,102,552	2,160,842
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	120,158	97,216
賞与引当金	90,132	176,355
その他	412,735	324,650
流動負債合計	623,025	598,221
固定負債		
退職給付引当金	121,729	141,066
その他	10	10
固定負債合計	121,740	141,077
負債合計	744,765	739,298
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	238,284	238,284
資本剰余金	168,323	168,323
利益剰余金	949,502	1,013,169
自己株式	△363	△363
株主資本合計	1,355,746	1,419,413
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,040	2,130
評価・換算差額等合計	2,040	2,130
純資産合計	1,357,786	1,421,543
負債純資産合計	2,102,552	2,160,842

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成27年2月1日 至 平成27年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成28年2月1日 至 平成28年4月30日)
売上高	1,163,458	1,276,918
売上原価	714,790	798,312
売上総利益	448,668	478,606
販売費及び一般管理費	284,643	301,137
営業利益	164,024	177,468
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	17	23
受取手数料	128	125
研修教材料	482	490
助成金収入	593	500
未払配当金除斥益	230	669
その他	279	277
営業外収益合計	1,738	2,091
営業外費用		
解約違約金	9,300	—
営業外費用合計	9,300	—
経常利益	156,462	179,559
税引前四半期純利益	156,462	179,559
法人税、住民税及び事業税	78,595	93,915
法人税等調整額	△18,677	△31,152
法人税等合計	59,918	62,762
四半期純利益	96,543	116,796

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	156,462	179,559
減価償却費	2,507	2,541
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	300	500
賞与引当金の増減額 (△は減少)	53,379	86,223
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11,614	19,337
受取利息及び受取配当金	△23	△28
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,410	△2,415
売上債権の増減額 (△は増加)	△47,302	△79,708
たな卸資産の増減額 (△は増加)	494	308
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△60,245	△11,643
未払金の増減額 (△は減少)	△113,958	△79,751
その他	△17,992	△1,178
小計	△16,173	113,742
利息及び配当金の受取額	23	28
法人税等の支払額	△105,627	△117,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	△121,777	△3,761
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△865	△419
無形固定資産の取得による支出	—	△8,080
敷金及び保証金の差入による支出	△189	△115
敷金及び保証金の回収による収入	108	484
その他	△6	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△953	△8,137
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△40	—
配当金の支払額	△35,897	△49,419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,938	△49,419
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△158,669	△61,317
現金及び現金同等物の期首残高	1,076,551	1,301,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	917,881	1,240,481

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。